平成24年第4回瑞穂市議会定例会会議録（第1号）

平成24年11月27日（火）午前9時開議

議事日程

- 日程第1 議席の一部変更
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 諸般の報告
- 日程第5 議会運営委員の選任
- 日程第6 議員 くまがいさちこ君に対する懲罰の件
- 日程第7 行政報告
- 日程第8 承認第4号 平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第5号）の専決処分について
- 日程第9 議案第67号 新市建設計画の変更について
- 日程第10 議案第68号 消防の事務委託に関する規約の変更について
- 日程第11 議案第69号 瑞穂市総合計画策定条例の制定について
- 日程第12 議案第70号 瑞穂市道路占用料の徴収に関する条例の制定について
- 日程第13 議案第71号 瑞穂市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について
- 日程第14 議案第72号 瑞穂市市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について
- 日程第15 議案第73号 瑞穂市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定道路等が満たすべき基準を定める条例の制定について
- 日程第16 議案第74号 瑞穂市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設が満たすべき基準を定める条例の制定について
- 日程第17 議案第75号 瑞穂市コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について
- 日程第18 議案第76号 瑞穂市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び瑞穂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 日程第19 議案第77号 瑞穂市農業集落排水処理施設条例及び瑞穂市コミュニティ・プラント条例の一部を改正する条例について
- 日程第20 議案第78号 瑞穂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第21 議案第79号 瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第22 議案第80号 瑞穂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第23 議案第81号 瑞穂市教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する

条例について

- 日程第24 議案第82号 瑞穂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第25 議案第83号 瑞穂市暴力団の排除に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第26 議案第84号 瑞穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第27 議案第85号 瑞穂市都市公園条例の一部を改正する条例について
- 日程第28 議案第86号 瑞穂市都市下水路条例の一部を改正する条例について
- 日程第29 議案第87号 瑞穂市下水道条例の一部を改正する条例について
- 日程第30 議案第88号 瑞穂市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 日程第31 議案第89号 瑞穂市給水条例の一部を改正する条例について
- 日程第32 議案第90号 平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第6号）
- 日程第33 議案第91号 平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第7号）
- 日程第34 議案第92号 平成24年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第35 議案第93号 平成24年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第36 議案第94号 平成24年度瑞穂市学校給食事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第37 議案第95号 平成24年度瑞穂市水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第38 議案第96号 瑞穂市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

本日の会議に出席した議員

1番	堀	武	2番	くまがいさちこ
3番	西岡	一成	4番	庄田昭人
5番	森	治久	6番	棚橋敏明
7番	広瀬	武雄	8番	松野藤四郎
9番	広瀬	捨男	10番	古川貴敏
11番	河村	孝弘	12番	清水治
13番	若井	千尋	14番	若園五朗
15番	広瀬	時男	16番	小川勝範
17番	星川	睦枝	18番	藤橋礼治

本日の会議に欠席した議員（なし）

欠員（1名）

本日の会議に説明のため出席した者の職・氏名

市 長	堀 孝 正	副 市 長	奥 田 尚 道
教 育 長	横 山 博 信	企 画 部 長	森 和 之
総 務 部 長	早 瀬 俊 一	市 民 部 兼 巢南庁舎管理部長	高 田 薫
福 祉 部 長	宇 野 睦 子	調 整 監	白 河 忠 良
環 境 水 道 部 長	弘 岡 敏	会 計 管 理 者	宇 野 清 隆
教 育 次 長	高 田 敏 朗	監 査 委 員 長	松 井 章 治
都 市 開 発 課 長	鹿 野 政 和	都 市 管 理 課 長	石 谷 日 出 夫
商 工 農 政 課 長	林 良 美		

本日の会議に職務のため出席した事務局職員

議 会 事 務 局 長	田 宮 康 弘	書 記	伊 藤 巧
書 記	今 木 浩 靖		

開会及び開議の宣告

議長（藤橋礼治君） どなたも、おはようございます。

ただいまから平成24年第4回瑞穂市議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

日程第1 議席の一部変更

議長（藤橋礼治君） 日程第1、議席の一部変更を行います。

会派結成及び変更の届け出等が提出されたことによりまして、会議規則第3条第3項の規定によって議席の一部を変更したいと思います。お手元に配付の議席指定表（案）のとおり変更することに御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま私が指定したとおり、議席の一部を変更します。

直ちに議席の移動を願います。

日程第2 会議録署名議員の指名

議長（藤橋礼治君） それでは、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議席番号11番 河村孝弘君と12番 清水治君を指名いたします。

日程第3 会期の決定

議長（藤橋礼治君） 日程第3、会期の決定の件を議題にします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月14日までの18日間にしたいと思いますが、御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月14日までの18日間に決定をいたしました。

日程第4 諸般の報告

議長（藤橋礼治君） 日程第4、諸般の報告を行います。

8件報告します。

まず、6件について、議会事務局長より報告をさせます。

議会事務局長（田宮康弘君） 議長にかわりまして、6件報告いたします。

まず1件目は、地方自治法第235条の2第1項の規定による例月出納検査の結果報告を、同条第3項の規定により監査委員から受けております。検査は、平成24年7月分、8月分及び9月分が実施されました。いずれも、現金・預金等の出納保管状況は関係帳簿等の記載金額と一致し、計数上の誤りはないと認められたとの報告でございます。

2件目は、地方自治法第199条第7項の規定による財政援助の監査の結果報告を同条第9項の規定により、監査委員から受けております。

関連しまして3件目ですが、地方自治法第199条第4項の規定による定期監査の結果報告を同条第9項の規定により、監査委員から2件受けております。

まず初めに、9月7日、生涯学習課を対象に監査が実施され、財務の事務は適正に執行されていると認められた。

生津ふれあい広場整備事業設計委託について、市長のマニフェストによれば当事業は、関係機関との協議の上、計画立案することになっている。これについては、3月の市議会定例会における本会議場での議員の質問に対し、教育次長は、予算が議決されているから、体育協会、その他各種団体の意見を聞いて進めると答弁している。

標記の委託契約は、5月29日締結で、10月31日までの期間となっており、関係機関との協議は契約前の4月17日と契約後の7月11日の2回、地元への説明会を8月12日に行っている。ただし、市長が直接要望を受けたとされる瑞穂本巣軟式野球連盟は協議に参加していないし、テニス関係者との協議もはっきりしなかった。

協議及び説明会の結果を受けて、委託契約の仕様と変更になった箇所があるが、契約の変更の手続が定かでない。約款によれば、原則として書面で行わなければならないことになっているので正規の手続をとっておくべきである。

生津ふれあい広場整備工事について、工事予算は2億9,000万円であり、既に足洗い場・水飲み場新設工事が48万3,000円で施工されている。これは、10月6日の国体デモスポ競技（ゲートボール）の開催を視野に入れてのことであった。また、生津ふれあい広場築山撤去・市内公園埋立工事が1,743万円で7月20日に契約されている。両工事とも広場整備工事とは別に分離発注しなければならなかったのか確認したが、明確な回答は得られなかった。

さらに、監査後の10月2日には生津ふれあい広場築山撤去その2工事が942万9,000円で契約されている。これにより、3つの工事で2,734万2,000円を支出することになり、予算残額は2億6,265万8,000円となる。

上記の設計委託における目標工事額は2億6,500万円以内としており、既に目標工事額を下回る設計にしなければならないことになる。このような現状を鑑み、今後、次の点に十分注意

され、事業を執行されたい。

1. 安易に設計変更して予算の範囲内で施工したり、予算の不足を理由に流用（充用）、あるいは増額補正がないこと。2. 今後の施設整備計画を考えると、繰越明許で整備を先延ばしにして無駄が生じることがないこと。3. 2つの築山撤去工事は、いずれも工期が平成25年1月21日までとなっているので、両工事の完成と今後の広場整備工事の発注の整合性をとること。

いずれにせよ、市長が議会で答弁されているように、最少の経費で多目的に活用できるように整備していただくとともに、要望された団体はもとより、多くの市民に満足して利用していただけるようにされたい。

還付未済額について、総合センターの平成18年度備品使用料1件、1,260円と平成20年度部屋使用料1件、2,450円が還付未済となっている。相手方と連絡がとれず還付が難しいとのこと未処理となっているが、そのような場合の適正な処理方法を早急に確認し、処理すべきである。今後は、このようなことがないように注意されたいとの報告でした。

次に、10月30日、議会事務局を対象に監査が実施され、財務の事務は適正に執行されているものと認められた。

旅行命令権者について、条例によれば旅行（出張）は、任命権者もしくはその委任を受けた者の発する旅行命令によって行わなければならないとされている。議員及び事務局職員の場合、任命権者は議長になると思われるが、保管されている旅行命令簿全てに議長の承認印は押印されていなかった。早急に是正すべきである。

旅行命令簿について、保管されている旅行命令簿は旅費が支給されているものだけで、旅費が支給されない旅行命令簿はなかった。条例からすれば、旅行命令簿は旅費の支給の有無に関係なく必要であるので備えつけておくべきである。

なお、このような事態が生じるのは、条例施行規則で定められている旅行命令簿（様式第1号）が作成されていないために、旅費の支給されていないものは必要ないと誤解しているからと思われる。これは全庁的な問題であるので、旅費の主管部署においては、国家公務員等の旅費に関する法律などを参考に、旅行命令簿の様式を一度検討されたい。

復命について、職員は瑞穂市職務服務規程により、出張した場合には、原則として復命書を提出しなければならないことになっている。議員は、瑞穂市議会会議規則で委員会の審査・調査については議長に報告書を提出しなければならないが、そのほかに復命に関するような規程はない。議会広報に議員派遣に関する事項を掲載することが定められている程度である。口頭での出張報告はされているようだが、文書として必要ないか検討されたい。

議員の自家用車による旅行について、議員の旅行命令簿の中に自家用車で出張しているものがあつた。職員については瑞穂市職員の自家用車による旅行に関する規程があり、自家用車での旅行が認められ、旅費が支給されることになっている。しかし、議員についてはそのような

規程はなく、旅費が支給されていることも適正とは言いがたい。できる限り、公用車や公共交通機関の利用に努めていただき、やむを得ず自家用車で旅行しなければならないのであれば、万が一の事故等に備えて規程等を早急に整備すべきである。

議員行政視察のバス借り上げについて、瑞穂市議会会議規則第162条の規定に基づき、10月23日、24日に兵庫県加西市及び京都府京丹後市に議会改革の行政視察を行っている。その際の交通手段として、市が観光バスを借り上げ、契約している。そのバス代（契約金額）の支払いは、参加者全員で割り戻して旅費から支払うとのことであった。しかし、1．旅費は参加者個人に支給されるもの、バス代は公費で払うもので矛盾が生じる。2．条例による旅費の計算によれば、割り戻したバス代が交通費（車賃）とはならない。

以上のことから、不適切な執行となる。過去においても同じ処理をされているので、今後は適正な予算科目で執行すべきである。あわせて、契約したバス会社に別途宿泊先と食事先を手配しているが、バス借り上げと一緒に契約できないか検討されたいとの報告でした。

4件目は、岐阜地域児童発達支援センター組合議会の結果報告です。

10月29日に、同組合の平成24年第2回定例会が開催されました。管理者より提出された議案は、平成23年度決算の認定を求めるもの1件で、原案のとおり認定されました。

5件目は、議員派遣の結果報告です。

さきの議会で議決されたとおり、10月23日、24日、議員18名が兵庫県加西市議会と京都府京丹後市議会へ視察研修に行きました。研修では、議会改革推進について研修を受けました。

また、11月6日には、議員18名が本巣市糸貫ぬくもりの里、いきいきホールで開催された中濃十市議会議長会主催の議員研修会に出席しました。研修会では、一般社団法人日本経営協会講師であり、市町村アカデミー客員教授、大塚康男氏を講師に迎え、「議会人の常識」（兼職の禁止、議員の発言等）と題する講演を受講されました。

いずれの研修も大変有意義な研修であり、議員の資質向上に大いに役立つ研修であったと思います。

6件目は、西濃環境整備組合議会の結果報告です。

11月19日に同組合の平成24年第2回定例会が開催されました。管理者より提出された議案は、決算の認定を求めるもの1件でした。平成23年度決算の認定を求めるものについての結果は、認定されました。以上でございます。

議長（藤橋礼治君） それでは、7件目は、平成24年第3回もとす広域連合議会定例会について、広瀬武雄君から報告を願います。

7番 広瀬武雄君。

7番（広瀬武雄君） 議席ナンバー7番 広瀬武雄でございます。

ただいま議長より御指名をいただきましたので、平成24年第3回もとす広域連合議会定例会

について、広域連合議員を代表いたしまして御報告申し上げます。

第3回定例会は、去る10月19日から11月1日まで、14日間の会期で開催されました。

今議会に広域連合長から提出されました議案は7件、その内訳は、条例の一部改正が1件、決算の認定が3件、補正予算が3件でありました。

条例の一部改正は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございました。

決算及び予算の関係につきましては、一般会計、介護保険特別会計、老人福祉施設特別会計の3つの会計で、平成23年度決算の認定を求めるものと平成24年度補正予算を行うものでございました。

提出された議案は、所管の常任委員会に審査を付託し、11月1日の定例会最終日に委員長報告の後、質疑・討論・採決を行い、いずれの議案も可決または認定されました。

以上、平成24年第3回もとす広域連合議会定例会の報告を終わります。

なお、これら定例会の議案書並びに詳細な資料は、議会事務局に預けてありますので、御希望の方はごらんください。以上です。

議長（藤橋礼治君） 8件目は、「平成24年度第3回市町村議会議員特別セミナー」について、若井千尋君から報告を願います。

13番 若井千尋君。

13番（若井千尋君） おはようございます。議席番号13番 若井千尋。

藤橋議長より指名いただきましたので、議員派遣の内容と結果報告をさせていただきます。

11月21日、22日の2日間、滋賀県大津市の全国市町村国際文化研究所において、平成24年度第3回市町村議会議員特別セミナーを受講してまいりました。

清水治議員と2人の参加でありましたので、代表して受講内容と受講後の感想を含め、御報告させていただきます。

初日の11月21日は、午後0時45分より、オリエンテーションとして2日間の日程説明を受け、13時より、株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシーの竹中功専務の「活気あるまちへの挑戦～リーダーに必要なもの～」と題して講義を拝聴してまいりました。

今回、2日間の議員特別セミナーの講師は4名、一貫したテーマは、主に「地域の再生と活性化」でありました。竹中講師は、活気あるまちへの挑戦には、人と人との信頼関係の大切さを重視する、また重視できることがリーダーの条件であると話されておりました。

2限目は、同志社大学の新川達郎教授による「地域再生に必要なもの」と題した講演内容でありました。私が勉強になったのは、合併、合併で大きくなった行政の中で、地域といってもなかなかぴんとこない。要するに、身近な地域は元気であるか、区・自治会の活動は活発か、自治会長、区長、役員だけが動いていないか、自治会の役員は固定化していないかなどなど、

近未来には3分の1の人が65歳以上になる地域の現状を踏まえ、「新しい公共」は、協働で組織づくり、人づくりである、その大切さを学んでまいりました。

2日目は、午前9時より、地域再生プランナーの久繁哲之助講師による「地域の再生と活性化～市民が豊かになる地域再生策～」と題して、成功には、「知識」掛ける「考える」掛ける「使う」の理論編の講習を受けてまいりました。

最後は、10時半より、「まちの文化人類学～住み続けたいまちとは～」と題して、東京大学名誉教授、船曳建夫教授の講演でありました。非常に次元の深いお話でありました。地域といっても、歴史上、日本という国の成り立ち、また日本人独特の世界観を踏まえた上で、郷土愛を持って住み続けたいまちの構築をとの内容でありました。

今回は、4時限全てが冒頭に申しあげましたテーマに沿っての講演でありました。各講師の先生への質問の時間も少なく、一方的に講演を聞くだけでありましたが、当市も抱える課題として、「地域再生・活性化」については、行政だけでなく、商店街の店主、自治会、さらに市民の参画を得ながら、将来を見据え、今以上にしっかり議論を交わしていく必要性を強く感じました。

最後に、どの講師の先生も、地域でいうところのまちを、市町村の「町」でなく、また市街地の「街」でなく、「まち」と平仮名で表現されておられましたのには、地域というものは単に土地だけでなく、そこに暮らす人づくりの大切さを強調されていたように感じました。

以上、簡単ではありますが、議員研修の派遣議員代表としての報告とさせていただきます。
議長（藤橋礼治君） ありがとうございます。

以上、報告した8件の資料は、事務局に保管してありますので、ごらんいただきたいと思います。

これで諸般の報告を終わります。

日程第5 議会運営委員の選任

議長（藤橋礼治君） 日程第5、議会運営委員の選任を行います。

お諮りをいたします。議会運営委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定によって清水治君を指名したいと思いますが、御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 異議なしと認めます。したがって、議会運営委員は、ただいま指名しましたとおり、選任することに決定をしました。

日程第6 議員 くまがいさちこ君に対する懲罰の件（委員長報告・質疑・討論・採決）

議長（藤橋礼治君） 日程第6、議員 くまがいさちこ君に対する懲罰の件を議題といたします。

す。

地方自治法第117条の規定によって、くまがいさちこ君の退場を求めます。

〔2番 くまがいさちこ君 退場〕

議長（藤橋礼治君） 本件については懲罰特別委員会に審査を付託してありますので、懲罰特別委員長の若園五朗君のほうからお願いしたいと思います。

懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 議席番号14番、新生クラブ、若園五朗。

懲罰特別委員会の報告をします。

ただいま議長より発言の許可をいただきましたので、当懲罰特別委員会に付託されました懲罰動議の案件について、瑞穂市議会会議規則第39条の規定により、審査の経過及び結果について報告します。

平成24年9月26日、定例会の最終日、本会議場において、くまがいさちこ議員に対する懲罰について、公開の議場における陳謝及び陳謝文が議決されました。しかし、くまがい議員が陳謝文の朗読を拒否されたことにより、再度くまがい議員に対しての懲罰動議が松野議員ほか11名、議員の連署で当日提出され、議決により本特別委員会が設置されました。

それでは、本特別委員会での経過及び審査の結果について報告します。

当委員会は、去る11月22日午後2時より、議員会議室において委員全員の出席のもと開催しました。

委員会では、まずこの懲罰動議の発議者である松野委員より、その懲罰動議の提出理由の説明を求めました。

松野委員からは、9月26日の定例会最終日における懲罰動議の発議の理由趣旨の説明が行われ、松野委員への質疑はありませんでした。

次に、くまがい議員に弁明を求め、くまがい議員からは、弁明で、言葉の意味、解釈の説明の後、9月26日の懲罰における陳謝文の朗読拒否の理由及び自分の立場について説明され、6月22日に提出された私への懲罰動議については、公平性、公正性、透明性が何ら保障されずに審査、審議された旨の弁明がありました。

なお、くまがい議員の弁明への質疑はありませんでした。

委員会では、前回の懲罰動議にかかり、6月22日に提出された閉会中の継続審査申出書の理由を朗読し、また今回の懲罰事案に係る関係法令として、地方自治法第129条により、議長の陳謝文朗読命令違反、瑞穂市議会会議規則第157条により、議会の決めた陳謝文の朗読拒否、また地方自治法第134条に係る懲罰の理由、同法第135条第1項による戒告、陳謝、出席停止、除名から成る懲罰の種類及び瑞穂市議会会議規則第158条による出席停止の場合の期間は、最高5日間となるなどを説明しました。

その後、委員より、9月26日に提出された懲罰動議が懲罰に該当するかどうかの意見を聞き、議会が決めた陳謝文を朗読しなかったのは、地方自治法第129条により、議長の陳謝文朗読命令拒否の違反及び瑞穂市議会会議規則第157条により、議会が決めた陳謝文の朗読拒否の違反であり、懲罰に当たるのは明らかであるとの意見が出て、討論なく、採決の結果、全会一致により、懲罰に該当するものと可決しました。

次に、地方自治法第135条に定める、1．公開の議場における戒告、2．公開の議場における陳謝、3．一定期間の出席停止、4．除名の4種類のうち、どの懲罰に科すべきか、その懲罰の種類について審査しました。

委員より意見を聞き、陳謝文は本会議場で議決したものであり、議長より陳謝文の朗読を命じられ、その朗読を拒否したものであるため、古川委員より出席停止が妥当であるとの意見が出て、一定期間の出席停止とすることについてを採決し、その結果、全会一致により、懲罰の種類については、一定期間の出席停止とすると可決しました。

次に、その出席停止の期間について審査しました。

委員には、全国における陳謝文朗読拒否に係る懲罰事案について、出席停止の日数の事例の資料を示し、委員は熟読精査されました。

瑞穂市議会会議規則第158条に規定する出席停止の期間の最高は5日間であり、5日間とするのもやむを得ないとの意見が榎橋委員より発言があり、採決の結果、全会一致で出席停止の期間を5日間と可決しました。

当懲罰委員会の委員長として、議員の懲罰については、今回の案件を機会に、議員全員が議員本来の職務を全うするために、議員相互に切磋琢磨して、議会の秩序を守り、品位のある議会運営をお互いに心がけていただき、市民の負託に応え、信頼される瑞穂市議会となるように努めていただきたいということの意見を申し添えます。

なお、当懲罰特別委員会の会議資料については議会事務局にあります。

以上をもちまして、委員長報告とします。平成24年11月27日、懲罰特別委員会委員長 若園五朗。

議長（藤橋礼治君） これより、議員 くまがいさちこ君に対する懲罰の件の委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 改革の西岡一成でございます。

まず、第1点目にお聞きをしたいのは、市議会会議規則第158条は、出席停止は5日を超えることができないと規定しております。今回の懲罰特別委員会が決定した出席停止の5日間と

いう処分は、出席停止処分の中では一番重い処分であります。

そこで、お聞きをいたしますけれども、その根拠についてどのような審査がなされたのか、それをまず報告をいただきたいと思えます。その答弁を踏まえて、自席のほうで以降の質問はさせていただきます。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 西岡議員の質問ですが、懲罰特別委員会報告書の3枚目の下のほうの3行目から4行目に、委員会の委員長報告のとおりでございます。

以上で、答弁にかえさせていただきます。以上です。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 今の委員長の答弁は、私の質問には全く答えていない。報告を見ても、「出席停止の期間について審査しました。委員には、全国における陳謝文朗読拒否に係る懲罰事案について、出席停止の日数の事例の資料を示し、委員は熟読精査されました。瑞穂市議会会議規則第158条に規定する出席停止の期間の最高は5日間であり、5日間とするのもやむを得ないとの意見が榎橋委員より発言があり、採決の結果、全会一致で出席停止の期間は、5日間と可決しました」、こういう報告でありますけれども、私が聞いておるのは、出席停止の処分の5日間というのは、出席停止の中で一番重いでしょう。3日や4日や2日ってあるでしょう。それが、なぜ5日なのか、その根拠について具体的に明らかにしてくださいということ聞いた。その答弁が全くない。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 先ほど西岡議員の質問でございますけれども、先ほどの委員会報告で言いました議長の陳謝文の朗読命令違反、これについては非常に自治法でも重い懲罰の事例があります。そういうことを鑑み、委員全員による5日間の出席停止の発言があり、全会一致で可決したところでございます。以上です。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） やっぱり答えていないですね。くまがい議員が陳謝文の朗読を拒否するということは重い命令違反であるという、そのことの認識はわかりました。では、その認識を踏まえて、なぜ3日でいけないのか、なぜ4日でないのか、なぜ5日で決定したのか、その根拠を聞いておる。今の答弁というものはその根拠じゃないんです。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 先ほど西岡議員の質疑でございますけれども、今言っている最高5日間、実際には1日、2日、3日、4日、5日間という日にちが設定されているんで

ざいますけれども、先ほど言いましたように、地方自治法第129条による議長の陳謝文の朗読命令違反、瑞穂市議会の会議規則第157条による議会の決めた陳謝文の朗読拒否、それを5日間と決めたのは、瑞穂市議会の懲罰特別委員会の全員の意思表示であります。

先ほど委員長報告ということでさせてもらいましたが、このことは今回の案件で最後にし、もっと議員同士の切磋琢磨、政策論争をしっかりとやって、市民に信頼される議員になることが一番最大の事です。

今回のこのことを委員長として出席停止5日間ということを決めさせてもらいましたんですが、自治法、あるいは瑞穂市の議会会議規則の違反であれば、素直に議員であれば受ける。もし、逆に私がそうなれば、謝り、素直に前へ進むという気持ちでないと、出席停止5日間の日数を議論する議場ではございません。今回の地方自治法、瑞穂市議会会議規則、あるいは懲罰の事例については、議員必携にも全て書いてございます。

前回の十市の本巢市の懲罰の勉強会でもあったとおり、しっかり自分に心を置きかえて、御理解願います。以上でございます。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 全く私の質問に対するピントの合った答弁ではありません。ですから、質問の仕方をまた変えてお聞きをいたします。

議員というものは、単なる個人ではありません。その議員の背後には、その議員を議会に送り出した多くの市民がおられます。くまがい議員の場合ですと、約600名の住民の皆さん方が送り出しているわけでありまして。ですから、懲罰、その結果に対しては十分な説明責任が果たせるものでなければなりません。ところが、今、委員長が答弁をされておりますけれども、重い命令違反であったとか、会議規則に違反をしたんだからとか、だから、なぜ3日でないのか、なぜ4日でないのか、なぜ5日なのか、その根拠について明らかにしてくださいということをおっしゃるんです。

熟読をされたのであるならば、その議員の一身上の身分に対する制限を加える、そういう処分をするということがどういう意味なのか、このことを考えれば、いついかなるときも、どこへ出ていっても、きちんと説明責任が果たせるような内容でなければいけない。今のような答弁では、どこへ行たって説明責任が果たせない。重い処分だから5日間です。だから、何で5日ですか、いや、重い違反だからです。これでは話にならないです、そういうことではね。

聞いても同じことの繰り返しですので、今、申し上げましたように、やはり議員の背後にいる住民を見据えながら、説明責任をしっかりと果たしていくような中身でなければならぬということでもあります。

次にお聞きしますが、では、出席停止ということは、具体的にはどういうことですか、それ

をお聞きしておきます。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 西岡議員の5日間の出席停止の範囲ですが、議場における5日間の出席停止、そして議会活動であります常任委員会、特別委員会の出席停止でございます。それ以外の議員活動については、該当いたしません。議会で決めた5日間の、その日数については出席停止の対象になります。以上です。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 今、答弁をいただきました。今の答弁を踏まえて少し申し上げたいと思いますが、11月22日に開催をされました懲罰特別委員会において事務局より配付をされた資料1の5ページの6行目には、次のように書かれております。

侮辱に対する措置、第133条、普通地方公共団体の議会の会議、または委員会において侮辱を受けた議員は、これは議会に訴えて処分を求めることができる。

解釈及び運用、1. 本条は、議会の会議、または委員会と明確にしているので、本会議の議場における侮辱には当たらないというふうにあります。

それで、今、委員長から答弁がありましたように、議会の会議とは本会議ということに、この文言ではなるというふうに思います。

資料2の4ページ、14行目にも、あわせて見てみたいと思いますけれども、一定期間の出席停止というのは、本会議や委員会に出席して発言し、あるいは表決に加わるという議員本来の権利を一定期間停止させる処罰であるというふうに書かれております。これでもはっきりしておりますけれども、出席停止されるのは、今、委員長が報告されたように、本会議や委員会に出席して発言し、あるいは表決に加わるという議員本来の権利というふうになります。

つまり、そこでお聞きをしたいんでありますけれども、会派の自主的な議案の勉強会、さらには全員協議会への出席、このことについては地方自治法上の会議ではないというふうな理解でよろしいでしょうか。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 西岡議員の質問でございますけれども、議会が設置した委員会については出席停止、委員会という名を持つものについては全て出席停止、しかし、予算の勉強会、あるいは事務局へ来ることとか、廊下を歩くとか、そういうのは出席停止になりませんので、あくまでも先ほど言いましたように、議場の出席停止、委員会という名のつくものについては、その期間、出席停止、予算の精読、勉強については、議員活動の範囲内で規制はかかりません。以上です。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 私的な議会の勉強会についてわかりましたが、もう一つお聞きをしたのは、全員協議会についてはどうなんですかということ具体的に聞いておりますので、そのことに対する明確な答弁を求めます。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五郎君。

懲罰特別委員長（若園五郎君） 西岡議員の質問ですが、先ほど言いましたが、委員会、全員協議会も委員会です。委員会と名のつくものについては、出席停止5日間、全て自治法に照らし合わせ、議長の判断で出席停止、委員会、議場の中についての停止がかかりますので、よろしくをお願いします。以上です。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 全員協議会が入らないという答弁をいただきましたので、そういうことで了解を……。

〔「全員協議会は対象になる」の声あり〕

3番（西岡一成君） 全く逆ですね。全員協議会もその会議の中に入るということを答弁されたわけですね。それ、間違いはないですか、もう一回、念を押しておきます。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五郎君。

懲罰特別委員長（若園五郎君） 西岡議員の質問でございますけれども、私の解釈と事務局ときちっと合っているかどうかの精査をするために意思統一をしました。

あくまでも、先ほど言ったように、委員会、議会活動としての採決、あるいは今言っている議員としての発言の場についての委員会については全て出席停止、議会で決めた、その期間において出席することはできません。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 先ほど22日の懲罰特別委員会の資料で読み上げました、その資料2の4ページ、14行目の話をしましたね。それは一定期間の出席停止というのは、本会議や委員会に出席して発言し、あるいは表決に加わるという議員本来の権利なんですね。そのことをどう理解するかということなんです。全員協議会という組織は、この会議に当たるかどうかということなんです。その認識が全くないということね。

例えば、ちょっとインターネットで、わかりやすくするためにちょっと調べてみたんですけども、さいたま市議会のホームページを見てみたんですね。そうすると、議会用語解説ということでずうっといろいろんなことが書いて、会期は、議会が会議を行う期間、開議、その日の会議を開くことということが書いてあるんですが、その中で全員協議会についても説明されてお

るんです。どういうふうに説明されておるかといいますと、全員協議会は、議員全員で行うものですが、つまり、会議というのは議員全員が参加をして行う、それが会議ですよ。全員協議会も、その意味では議員全員で行うものですが、正規の議会の会議ではなく、審議能力、決定能力など、議会としての能力は認められていません、こういうふうに明確に書いておるんですね、当たり前のことです。全員協議会なんです。委員会ではないんです。議会の議決によって構成された委員会、そして議会に諮って委員長が指名をすとか、そういうことがきちっと委員会条例等で決まっておるんです。全員協議会というのはそういう組織じゃないんですね。それは若園委員長も行政に何十年といたんだから、そういうことは基本的にきちっと踏まえなきゃいけない。ということは、私はどういうことかということ、結局、懲罰をやる場合においても、全員協議会がどういう組織であるのか、その中身はどのようなものなのか。本会議と委員会との差は、どこにどういうふうにあるのかということについてきちっと詰めずに、極端なことを言えば、最初からくまがいさちこ議員を、私流に言えば、やっつける、たたいてやるというような感情的な思惑というものが先行をしておるのではないかと、こういうふうを感じざるを得ないんです。

私は、いつも申し上げております。この約7期間、一貫して同じ態度をとってきました。執行部でも、ずうっと私を見ておる方はわかると思います。人によって物差しを当て、違うようなことはしません。客観的な具体的事実に基づいて、その検証、判断をしていく、そういうふうなことが我々には非常に大事な作風というものになると思うんです。

ですから、もう一回聞きますけれども、若園委員長、全員協議会は会議には入りませんね。委員会には入りませんね。

議長（藤橋礼治君） それでは、懲罰特別委員長 若園五朗君、答弁してください。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 西岡議員の質問に答弁します。

懲罰の種類、懲罰は、自治法第135条第1項により、先ほど言いました4つの懲罰がございます。3つ目の一定期間の出席停止については、本会議や委員会に出席して発言し、あるいは表決に加わるという議員本来の権利を一定期間停止させる懲罰である。この自治法の135条第1項3号の一定期間の出席停止の解釈によると、全員協議会は出席してもいいものと解釈します。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） そういうことです。

最後に、1つ質問いたします。一番最後に、「当懲罰特別委員会の委員長として、議員の懲罰については、今回の案件を機会に、議員全員が議員本来の職務を全うするために、議員相互に切磋琢磨して、議会の秩序を守り、品位のある議会運営をお互いに心がけていただき、市民

の負託に応え、信頼される瑞穂市議会となるように努めていただきたいという意見を申し添えます」とあります。これは言葉であってはいけません。先ほども申し上げましたけれども、議員の一身上の身分に係る処分を行う、そういう懲罰特別委員会でありますから、私はこの席で委員外発言を求めました。しかしながら、全員が反対をされました。したがって、私は懲罰特別委員会の中で発言をする機会を持つことができませんでした。このことをどう考えるかということなんです。同じわずか18人の仲間の中で、1人の議員が懲罰にかけられる、そのときにそのことに関して、特にまた同じ会派でもありますけれども、懲罰の意味について、先ほど来、質問してきたようなことについて発言をしたかった。そういうさまざまな多様な意見を突き合わせることによって議会運営というものを行っていく、このことが実はここに書いてある品位のある議会運営ということではないでしょうか。

繰り返しますけれども、くまがいをやっつけないかん、くまがいをたたいてやれ、そういうことが先行すると、先ほど申し上げたような規則とか、そういうものが置き去りにされて、自分の気持ちだけが前へ走っていく、こういうことではいけないんです。お互いにですよ、お互いに、我々の自省も含めて。そういう運営がまかり通っているんじゃないかということに対して、私は危惧をるところであります。

ですから、最後に、こういう言葉を枕言葉として並べるのではなくて、本当の中身を実現するようにしていただきたいというふうに思います。

もし、委員長、最後に思うところがあれば、どうぞ前で発言してください。

議長（藤橋礼治君） 懲罰特別委員長 若園五朗君。

懲罰特別委員長（若園五朗君） 西岡議員の質問に回答します。

委員長報告の中の最後のページの4ページですけれども、委員長の気持ちを枕言葉じゃなく、私の真意、本意でございますので、本当に議会の秩序を守り、品位ある議会運営をお互いに心がけていきたいというふうに思うところでございます。以上です。

議長（藤橋礼治君） それでは、ほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

議長（藤橋礼治君） 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

くまがいさちこ君から、本件について一身上の弁明をしたいとの申し出があります。

お諮りします。これを許すことに御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

〔「異議あり」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 異議がありますので、起立によって採決をいたします。

この申し出に賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

議長（藤橋礼治君） 着席ください。起立少数です。したがって、くまがいさちこ君の一身上の弁明の申し出に同意することは否決されました。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 1番 堀武君。

1番（堀 武君） 議席番号1番 堀武です。また、もとの1人会派で頑張ります。よろしくをお願いします。

さて、私は、この委員会でのくまがいさちこ議員の5日の出席停止に関しては反対を申し上げます。なぜならば、具体的に順序を追って説明をしますので、よろしくをお願いします。

これは、6月議会における西岡議員から大飯原発再稼働共同提案に対して、小川議員のある意味で勝手に出せばと解釈される発言があり、その後、共同提案になることなく、西岡議員と新生クラブ所属の会かな、2つの要望書が提出されました。よくよく考査すれば、何もほかで共同提案があったからといって、瑞穂市議会において共同提案が拒否されても、これは何ら不思議なことではなく、2つの議案が提出された。これは当然、別に不思議なことでも何でもないとは私は思っております。ですから、それに関して何も非難することはない。それに対してくまがい議員の、中日新聞には載っていましたが、その言葉は差し控えさせていただきますけれども、ある意味では、やゆに近い言葉ととられても仕方がないような発言であったと私も思います。ですから、それに関して侮辱を受けたと、要するに謝れというような提案が出された件に関しても、別に私はそれに関してどうこう言うつもりはありません。ただし、本来ならば、本会議のところですぐに、議長に対して言うならば、陳謝を求め、削除を求めるぐらいの配慮があっても私はよかったかなあと思う、これは私の意見です。反対されても結構です。

だから、そのようなことがなくして懲罰委員会が開かれ、そして陳謝をせよと採決がされました。これに関しても、私自身も再三にわたって陳謝を受けようと言ってきました。だから、そのようなことで、確かにそのような流れというものに関しては、私自身も陳謝してもらえればいいと思ったんですけれども、それを拒否したために、再度懲罰委員会が開かれ、さっき言われたように、最高の5日間が委員会で決定されました。この後に残るのは、恐らく除名という形しかないと思うんです。最後の除名を、もしも、くまがい議員が拒否され、そして懲罰委員会が開かれ、そして除名をされることが決議されたならば、これは極端なことを言いますと、議員の身分に関するものの、出席停止までは委員会、議会で決定はされ、そのとおりに従わなければならないですけれども、最後の除名のことにに関してなれば、これは司法の判断をまつということになります。司法の判断をまつということになれば、そのことに関して非常に大変なことになる。だけれども、私は皆さんが粛々とこれに関して、5日間に関して賛成されるか反

対されるか、それは皆さんの思いですから、私はどうこう言うつもりはありません。ただし、私自身は、5日というのは、さっき西岡議員も言われるように、少し重いじゃないかと。もう少し、少しだけ心のゆとりを持って、そして1日から4日ぐらいにさせていただければ、私もこれに賛成しました、はっきり言えば。だけれども、5日という最高の、後のないような形で追い詰めるような形に、恐らくなることもあり得るでしょうけれども、皆さんが提出している以上、恐らく賛成されることだろうと思います。そのときに、心の中で少しだけ武士の情けを持っていただければ結構だと。

そのようなことで、私のこれに対する反対討論を終わります。

議長（藤橋礼治君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔発言する者なし〕

議長（藤橋礼治君） それでは、討論なしと認めます。

〔「反対です」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） それでは、原案に反対者の発言を許します。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 3番 西岡一成君。

3番（西岡一成君） 改革の西岡一成でございます。

何といたしますか、若園委員長の口の乾かぬうちに、本人の弁明の機会を反対する。先ほど私が委員外発言を認めない、そういうことでいいのかと。今までに私も7期、議員をやっておりますけれども、委員外発言とか、そういうことは幾らでもできました。議会の中で、先ほど申し上げた多様な意見を闘わせて、より住民福利の向上となるべく、まさしく切磋琢磨する、そういう観点からすれば当たり前のことなんです。今の本人の弁明の機会を本会議場で否決をする、このことが先ほど若園委員長は、「品位のある議会運営をお互い心がけていただき、市民の負託に応え、信頼される瑞穂市議会となるよう努めていただきたい」、はっきり言えば、よく言うよ、よくそんなことが言えますね、と私は言わざるを得ません。

私も松野友穂積町長の時代から、その議会の中で圧倒的少数派の中でやり続けてきました。しかしながら、その当時の議会の皆さん方も、委員外発言だとか、そういうことは認めていこうと、そういうこともありました。むしろ、今のほうがそういう議会人として、当たり前として受けつけなければならないことが通っていかないような議会になっている、と私は経験上感じます。

それで、本件につきましては、やはり事実経過をしっかりと踏まえておかなければならないと思います。それが、いつの間にかすりかえられてしまっている。

先ほど堀議員も少し申されましたけれども、最初の問題は、大飯原発の再稼働に対する意見書の問題でした。私は9月議会の冒頭で、岐阜県議会や岐阜市議会が共産党を含めて全会一致

で意見書を上げているから、我が瑞穂市議会も全会一致で上げたほうがよろしいんじゃないですか、案文は全部任せますよ、お任せいたしますということまで申し上げたわけでありまして。それに対して小川議運委員長は、それは西岡君が出せばいい。要件さえ整っておれば、粛々と質疑、討論、採決をすればいいんだからということをおっしゃいました。ということは、議会全体で取り扱う意思がないということをお示されたというふうに私は受けとめました。ですから、意見書を自分たちでつくらざるを得ないということをつくって、議会最終日の議運に出したわけですね。そうすると、今度は新生クラブから10名が連名で岐阜県議会でも可決をされた意見書の内容とほぼ同じものが出されてきた。それで、我々は初めてそれを知ったという経緯であります。

広瀬時男副議長は、あなたたちが原発なんか要らんと、全て反対だというふうな意見書を出すから自分たちが出したと、このようなことを言われましたけれども、それは全く事実と反するすりかえであります。そういうことじゃなかった。まず、このことをしっかり踏まえておくことが必要であります。

そこで、くまがい議員が、そういう行為に対してけつ穴が小さいということをおっしゃったわけですね。私であれば、我々であれば、自民党が意見書を出そうが、共産党が意見書を出そうが、岐阜県議会が出したような内容であれば、そのどこが出したかにかかわらず賛成をする。住民の利益になることは賛成をする、そういう広い心で対応をしました。だから、一番最初にそれを言ったんです。その事実を、まずしっかり踏まえておいていただきたい。

で、先ほど申し上げたように、もう最初から結論があるようなくまがいたたき、それ以外のものじゃないじゃないですか。先ほどの若園委員長の答弁といい、それを数さえ持っておれば何でもできるんじゃない、そういう問題じゃないんです。簡単に言葉で少数派の尊重だ、何だかんだ、民主主義のイロハのことを言いますが、少数派の尊重というのは、さっきの委員外発言を認めるとか、あるいは本人の弁明の機会を与えるとか、民主主義は寛容なんですよ。民主主義の歴史を調べてください。民主主義ということは、別の言葉でいうと寛容ということでもあるんです。

ですから、私はそういうふうな心の狭いような対応をされるのではなくて、もう少し議会全体、住民全体の福利の向上というものを掲げた上で行動をやっていただきたい。そうでないと、くまがいたたきの例をもう一つ言いますが、例えば9月議会で障害者は能力がないという部分がありました。テープを起こしてみたら、そのとおりになります。けれども、その言葉だけ捉えるのではなくて、その話全体の中で障害者に対してどういう立場をそのくまがい議員がとっているかということは、おのずと見えてくるわけでありまして。本当の差別をなくしていく、そのために自分たちが何をしなければいけないかということをお本気で考えたならば、言葉尻を捉えて批判することではなくて、なぜそれが差別なのか。我々、日常的に差別は行って

いないか。部落差別の問題、在日朝鮮人に対する差別の問題等々、広く潜在的に存在しております。それを本会議で陳謝すればいい、そんなことで差別がなくなりますか。

例えば、私も障害者です。心臓のことでいえば重度障害者、あるいは耳でいえば、なかなかこういう場所でマイク施設がないところへ出ていったら聞こえない。そういう状況のときに、例えばくまがい議員は、通訳をしましょうか、そういうことを言っていただいて、書いてもらって初めてわかる、それが現実なんですよ。

障害者のことを言ったら、びつこと言ったら、すぐそれを取り上げて、議長不信任、緊急動議、めくら判と言ったら、すぐその言葉尻を捉えて緊急動議、障害者差別と言ったら、すぐ緊急動議、何が大事かということなんです。どういう教育をすることによって差別をなくしていくかということなんです。後先が逆なんです、やることが、そんなことでは差別はなくなります。

いろいろ申しあげましたけれども、けつの穴が小さいという言葉は、そういうふうなことを含めて、皆さん方が委員外発言を認めない、さらには本人の弁明の機会を本会議場で与えないという、そういう行為と比べたときに、けつの穴が小さいということだけで処分をする、つり合いですね、バランスですよ。処分のバランスから考えていかなものか。もう少し真面目に、自分たちの胸に手を当てて考えていただきたい。以上です。

議長（藤橋礼治君） それでは、次に賛成者の発言を許します。

〔挙手する者あり〕

議長（藤橋礼治君） 5番 森治久君。

5番（森 治久君） 懲罰委員会の5日間の出席停止という意見に賛成の立場で、議席番号5番 森治久でございますが、述べさせていただきます。

まず初めに、先ほど質疑の中で、西岡議員がくまがい議員が六百数名の方の支援者が議員として、この議場で市民の信託をいただく中で、そしてこの瑞穂市の発展、発達、そして市民の皆さんの福利厚生向上はもちろんのこと、まちづくりが今以上に進むことをどの議員も願っての、この議場への登壇でございます。

そんな中で、六百数名というお話がございましたが、ようくよく冷静に考えていただきたいんですが、その六百数名、もちろん大切でございます。ただし、今、反対討論の中で西岡議員がおっしゃられた最初でのお話は、原子力発電所、大飯の議案提出の案件でございました。これは、何回も、前回のときも申しあげましたが、西岡議員から御提案いただいた内容は、私も新生クラブ初め、その有志一同が考えておった内容と大きく違うところが1点あったんです。その大きく1点違っておったのが、大飯原発の即時再開停止というのが西岡議員が申しあげられた提案書でございました。

〔「違う違う」と3番議員の声あり〕

5番（森 治久君） いえいえ、それを私どもは……。

〔「案文を全部任せると言った」と3番議員の声あり〕

5番（森 治久君） いえいえ、そのお話じゃないです。冷静に聞いてください。

その内容と私どもが違っておったのは、大飯原発の再開を決められたのは、地元近隣市町村初め県の意向でそれを認める。ただし、その以降のことについては慎重に、国民の安全・安心を考えた上で再開を考えてくれというのが、私ども新生クラブ及び有志の皆さんから出した議案書でございました。

議長（藤橋礼治君） 静粛にお願いします。

5番（森 治久君） そんな中であれば、くまがい議員が申し上げられた言葉は、私たちの政治理念、信念、また人格否定をする言葉であり、その思いを持つ仲間の支援者は、その六百数名以上の支援者がある中で、私たちも自分の考えを持ち、それが市民の幸せになり、まちの発展につながるということを願っての理念、信念でございます。それを否定する言葉であったゆえに訂正を求めたわけでございます。その訂正を求めたにもかかわらず、陳謝、弁明もされずに、訂正もされずに今日に至っておるということを冷静に考えていただき、この5日間の出席停止が適切であるかどうかは、これは日数の問題でございます。ただし、今までにも弁明、弁解の機会、また議長からの陳謝の朗読文の指示もある中での今日に至った経緯でございます。そのようなことをしっかりと心した中で、反対の意見を申し上げさせていただきたいと思いません。

そんなことから、私は賛成の立場で、出席停止、やむを得ないなあということでの賛成とさせていただきます。以上でございます。

議長（藤橋礼治君） 以上で、討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議員 くまがいさちこ君に対する懲罰の件を採決します。

この採決は起立によって行います。

本件に対する委員長の報告は、くまがいさちこ君に5日間の出席停止の懲罰を科すことであります。

本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

議長（藤橋礼治君） 着席ください。起立多数です。したがって、くまがいさちこ君に5日間の出席停止の懲罰を科すことは可決されました。

くまがいさちこ君の入場を求めます。

〔2番 くまがいさちこ君 入場・着席〕

議長（藤橋礼治君） くまがいさちこ君に申し上げます。

ただいまの議決に基づいて、これからくまがいさちこ君に懲罰の宣告を行います。

くまがいさちこ君に5日間の出席停止の懲罰を科します。

くまがいさちこ君の退場を命じます。

〔2番 くまがいさちこ君 退場〕

議長（藤橋礼治君） 議事の都合によりまして、暫時休憩をとります、11時5分まで。

休憩 午前10時50分

再開 午前11時06分

議長（藤橋礼治君） それでは、休憩前に引き続きまして会議を開きます。

日程第7 行政報告

議長（藤橋礼治君） 日程第7、行政報告を行います。

市長から行政報告の申し出がありましたので、これを許可します。

市長 堀孝正君。

市長（堀 孝正君） それでは、私のほうから行政報告をさせていただきます。

平成24年第2回瑞穂市・神戸町水道組合議会定例会についてであります。

定例会は、去る平成24年10月17日、巢南庁舎において開催され、管理者として出席しましたので、その状況について報告をいたします。

行政報告1件と議案2件であり、それぞれ認定、可決されました。

その内容について御報告しますと、報告第1号瑞穂市・神戸町水道組合会計資金不足比率の報告についてであります。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、資金不足比率について、平成23年度決算に基づいて算定した結果、資金不足が発生していないことを監査委員の意見をつけて報告しました。

議案第3号平成23年度瑞穂市・神戸町水道組合会計決算の認定についてであります。

平成23年度瑞穂市・神戸町水道組合会計歳入歳出決算について、歳入は、負担金が182万円、水道使用料が605万2,000円、前年度繰越金が236万3,000円、その他の収入を含めて決算額は1,091万6,000円となりました。

歳出は、会議費が10万3,000円、総務費が456万1,000円、公債費が355万8,000円であり、決算額は822万2,000円となりました。

平成23年度の事業実績としては、給水人口648人、年間配水量7万9,637立方メートルで、水道使用料は、前年度比6.13%の減となりました。

また、基金積立額は5,069万6,000円、起債残高は4,280万1,000円となりました。

以上の決算内容について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけ

て組合議会の認定に付し、承認されました。

議案第4号平成24年度瑞穂市・神戸町水道組合会計補正予算（第1号）であります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ327万6,000円を追加し、総額を2,058万7,000円とするものであり、歳入は、基金繰入金を327万6,000円増額し、歳出は、落雷による電気設備の故障箇所を修繕するため、総務管理費を327万6,000円増額するものであります。

以上の補正内容について可決されました。

次に、報告第9号専決処分の報告についてであります。

瑞穂市犀川地内の市道8-3-638号線に植えられていた街路樹の添え木が原因の車両損壊事故について、当事者と和解し、賠償額を定めることにつき、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分しましたので、同条第2項の規定により議会へ報告するものであります。

以上、2件について行政報告をさせていただきました。ありがとうございました。

議長（藤橋礼治君） これで行政報告は終わりました。

日程第8 承認第4号から日程第38 議案第96号までについて（提案説明）

議長（藤橋礼治君） 日程第8、承認第4号平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第5号）の専決処分についてから日程第38、議案第96号瑞穂市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例についてまでを一括議題といたします。

市長提出議案について、提案理由の説明を求めます。

市長 堀孝正君。

市長（堀 孝正君） それでは、私のほうから所信表明及び提案説明をさせていただきます。

ことしも残すところ1カ月余りとなってまいりましたが、突然の衆議院解散、総選挙実施で、例年よりひときわ慌ただしい年の瀬となってまいりました。

この秋は、「ぎふ清流国体・清流大会」「みずほふれあいフェスタ2012」「瑞穂市文化協会市制10周年記念コンサート」「桑田真澄氏文化講演会」を初めとして多数の行事が開催されましたが、そのどれもが盛況で、成功裏のうちに終えることができました。これもひとえに、市がまちづくりの理念として掲げる「市民参加・参画・協働」が実践されたおかげであり、ひとえに、市民の皆様、関係各位の御努力のたまものと、心より感謝を申し上げます。

さて、本日、平成24年第4回瑞穂市議会定例会を開催させていただきましたところ、議員各位の御出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

定例会の開催に当たり、私の所感及び今回提案する議案について述べさせていただきます。

冒頭に述べましたとおり、現在、国政は、衆議院解散、総選挙という重大な局面を迎えておりますが、この一年を振り返ってみますと、ロンドンオリンピックで世界中が沸いた一方、ギリシャの金融危機に端を発した欧州債務危機に世界経済は翻弄され、日本経済は、中国国内の

反日暴動に水を差されて停滞し、国内では紆余曲折の上、社会保障と税の一体改革関連法案が成立して、消費税率引き上げが決まる一方、国政は停滞し、言い知れぬ閉塞感が日本社会を包み込んだ年でありました。

このような中、地方を取り巻く環境も激変しており、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる第2次一括法が施行されたことに伴い、国の関与づけが弱まり、地方への権限移譲が進められており、いよいよいや応なく、地方のことは地方で決める時代となってきました。

本定例会において御審議いただく関連議案がその施策の一部であります。当市においては、4月より施行されたまちづくり基本条例や、10月に設立しました一般財団法人 瑞穂市ふれあい公共公社は、まさにこのことを見据えて対応してきたものであります。

このように、地方分権が推進される一方、それに見合う財源は、地方交付税に若干の上乗せがあったものの、その執行が抑制されたり、地域自主戦略交付金が市町村まで拡充されない等、とても十分とは言いがたい状況であり、権限移譲が先行し、財政措置が後追いとなる構図は、かつての小泉内閣の三位一体改革以上の様相を呈してきたと感じておるところでございます。

特に当時の集中改革プランに基づき、職員定員管理を抑制してきた当市は、民間活力を活用すべく、みずほ公共サービス株式会社を設立して行政運営をしてきましたが、平成24年10月1日より労働者派遣法が改正され、グループ企業内派遣が8割に規制されたため、今後の派遣業務は、実質上不可能となり、その目的を十分発揮できなくなっておるところでございます。

このままですと、急増する移譲事務や多様化する市民ニーズへの対応が困難となりますので、今後は、本定例会で審議をお願いする指定管理者制度の導入や、職員定員管理の見直しも視野に入れていきたいと考えておるところでございます。

さて、このような状況の中、瑞穂市のこの1年間を振り返ってみますと、時代に翻弄されつつも、まちづくり、私の2期目のマニフェスト「人と自然に優しい、災害に強いまちづくり」に沿って着実に推進してこれたと感じております。

3月には、花塚排水機場、五六ふれあい橋、さい川さくら公園が完成し、基盤整備の推進と治水・防災面の充実を図ることができました。特に花塚排水機場については、9月の出水時にその威力を十分発揮してくれました。

4月には、まちづくり基本条例が施行され、参画・協働・共有の取り組みが本格的に始まったことや、市議会議員選挙が行われ、市民から新たに負託された19名の議員の皆様によって、まちづくりに御尽力いただくことになったことが特筆されるところでございます。

御承知のように、当市は、来年5月1日に合併10周年を迎えます。そこで、これに合わせ記念事業をスタートさせ、5月の「NHKのど自慢大会」を皮切りに、下犀川橋開通式典、8月のピース・メッセンジャー事業、非核・平和コンサート、9月の図書館企画展「治水250年の

歩み」、11月には冒頭に述べました「みずほふれあいフェスタ2012」と「桑田真澄氏文化講演会」を開催して、事業を着実に進めてまいりました。

本事業のゴールは、来年5月の合併記念式典であります。これには、市民参加の合併10周年記念事業実行委員会が組織され、現在、「瑞穂市民の歌」の歌詞募集等、準備が着々と進んでいると報告を受けておりますので、私も今から楽しみにしている次第でございます。

いずれにしましても、誰もが夢と希望を持てる瑞穂市となるよう、未来を見据えて、市民、議会の皆様と一体となってこれからのまちづくりに臨んでいかなければならないと、この1年間を振り返り、意を強くしているところであり、議員皆様の御理解、御協力、御支援を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、今回申し上げます議案は、専決処分に係る承認を求める案件が1件、計画及び規約の変更が2件、条例の制定及び改正に係る案件が22件、補正予算に係る案件が6件の、合計31件であります。

それでは、順次、提出議案の概要を御説明させていただきます。

まず、承認第4号でございます。平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第5号）の専決処分についてであります。

地方自治法第179条第1項の規定、普通地方公共団体の長において議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるときに基づき、専決処分しましたので、同条第3項の規定に基づき、議会の承認を求めるものであります。

内容は、平成24年12月16日執行の第46回衆議院議員総選挙及び第22回最高裁判所国民審査に係る費用について、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,500万円を追加し、総額を160億4,631万3,000円としたものであります。

なお、専決処分は、衆議院が解散しました平成24年11月16日の同日に告示させていただきましたので、議員皆様の御理解、御承認を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、議案第67号新市建設計画の変更についてであります。

東日本大震災の発生後における合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴いまして、市町村合併特例債の適用期間が5年間延長されることから、平成25年度以降も同起債を活用するため、新市建設計画の一部を変更しましたので、（旧）市町村の合併の特例に関する法律第5条第7項の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

議案第68号でございます。消防の事務委託に関する規約の変更についてであります。

消防の事務委託について、岐阜市との委託期間が平成25年3月31日で満了するため、引き続き、同市に事務を委託するに当たり、規約を改正するものであります。

議案第69号でございます。瑞穂市総合計画策定条例の制定についてであります。

地方分権が推進され、国の関与づけが弱まる中、地方自治法の改正により総合計画の策定義務が撤廃されたことにより、市の将来像を明らかにし、総合的かつ計画的に市政を運営するための根拠、構成、位置づけを明確にするため、新たに条例の制定を行うものであります。

議案第70号でございます。瑞穂市道路占用料の徴収に関する条例の制定についてであります。

道路法第39条の規定に基づき、市道の占用について占用料を徴収するため、市条例の制定を行うものであります。

次に、いわゆる第2次一括法関連の4つの提出議案について、一括して御説明を申し上げます。議案第71号瑞穂市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定についてであります。議案第72号瑞穂市市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定についてであります。議案第73号瑞穂市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定道路等が満たすべき基準を定める条例の制定についてであります。議案第74号は、瑞穂市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設が満たすべき基準を定める条例の制定についてであります。

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴いまして、道路法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部が改正されたため、市が主体性を持って市政を運営する必要性が生じたことにより、それぞれ市条例の制定を行うものでございます。

議案第75号でございます。瑞穂市コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例についてであります。

市内3つのコミュニティセンター、市営の自動車駐車場及び駐輪場に、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づく指定管理者制度を導入するため、関係条例の改正を行うものであります。

議案第76号瑞穂市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び瑞穂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例についてであります。

地域社会における共生の実現に向けて、新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴いまして、地方公務員災害補償法が一部改められたため、関係条例の改正を行うものであります。

議案第77号瑞穂市農業集落排水処理施設条例及び瑞穂市コミュニティ・プラント条例の一部を改正する条例についてであります。

農業集落排水処理施設並びにコミュニティ・プラントの使用者及び排水設備所有者の規定を明らかにするため、議案第87号との整合性を図り、市条例の改正を行うものであります。

次に、議案第78号瑞穂市附属機関設置条例の一部を改正する条例についてであります。

議案第69号の上程に伴いまして、瑞穂市総合計画策定審議会を追加し、また瑞穂市老人福祉計画策定委員会及び瑞穂市障害者自立支援協議会の内容の変更をそれぞれ行うため、市条例の

改正を行うものであります。

次に、4つの提出議案につきまして、一括して御説明を申し上げます。議案第79号でございます瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、議案第80号は瑞穂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、議案第81号瑞穂市教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について、議案第82号瑞穂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

今年4月に市議会議員選挙が実施され、現在の議会体制ができたわけでございますが、過去の議会でもお約束していたとおり、議員皆様方の報酬額等も含めて関係する特別職の報酬額の妥当性について瑞穂市特別職報酬等審議会を開催し、御審議をしていただきました。

その結果、去る11月1日に同審議会より答申が出されました。この答申内容を踏まえまして、審議会での審議内容等を真摯に受けとめ、答申の結果に沿い、今回、関係市条例の改正を行うものであります。

次に、議案第83号瑞穂市暴力団の排除に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴いまして、市条例の改正を行うものであります。

次に、いわゆる第2次一括法関連の6つの提出議案について、一括して御説明を申し上げます。議案第84号は瑞穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。次に、議案第85号瑞穂市都市公園条例の一部を改正する条例についてでございます。議案第86号は瑞穂市都市下水路条例の一部を改正する条例について、議案第87号は瑞穂市下水道条例の一部を改正する条例について、次に議案第88号瑞穂市営住宅条例の一部を改正する条例について、次に議案第89号瑞穂市給水条例の一部を改正する条例についてであります。

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴いまして、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、都市公園法、下水道法、公営住宅法、水道法の一部が改正されたため、関係する市条例の一部をそれぞれ改正するものでございます。

その他、議案第87号については、下水道施行令の改正に伴う除害施設の水質基準の追加、また電線等の占用及び使用に関する規定の削除、公共下水道使用者及び排水設備所有者の規定の明確化、指定工事店申請手数料の明文化を行うものであります。

次に、議案第90号でございます。平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第6号）であります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,900万円を追加し、総額を160億6,031万3,000円とするものであります。

本補正予算は、手狭となった穂積中学校運動場を拡充するため、新たにテニスコート用地を取得するものであります。

なお、用地取得に土地収用法を適用させるため、事務手続の関係上、通常の補正予算と切り離し、別補正予算として、先に議会の議決を求めるものであります。よろしく御配意賜りたく、お願いを申し上げます。

次に、議案第91号でございます。平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第7号）であります。歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ9,772万4,000円を減額し、総額を第6号補正予算と合わせて159億6,258万9,000円とするものであります。

また、3件の繰越明許費を設定するほか、地方債の補正において2件の起債額を変更するものであります。

今回の補正予算では、事業の完了、精算等に伴いまして、1億9,568万8,000円減額するほか、事業の追加、変更等に9,796万4,000円増額する内容といたしました。

歳出の増額の主なものは、総務費で公共施設整備基金等の基金積立費に2,958万6,000円、民生費で障害者福祉費に2,939万8,000円、生活保護費に4,483万4,000円、衛生費で太陽光発電システム設置整備補助金に260万円、土木費で道路改良費に2,600万円、河川維持費に892万5,000円、住宅リフォーム費用助成金に500万円、都市公園工事費に2,500万円、消防費で防災計画改定委託料に205万円、自治会消防器具整備事業補助金に120万円、教育費で公民館費に324万5,000円、公債費で起債償還利子に229万8,000円、それぞれ増額するものであります。

繰越明許費は、道路新設改良事業として市道5 - 2 - 109号線ほか2路線に3,300万円、社会資本整備総合交付金事業に1億4,400万円、地域防災計画改訂事業に300万円を設定しました。

次に、歳入の主なものは、事業費減額に伴いまして、国庫支出金を6,085万9,000円減額、県支出金を1,373万4,000円減額、市債を別府排水機場で3,000万円減額、防災無線管理事業で400万円減額するものであります。

次に、議案第92号でございます。平成24年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）であります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ986万円を追加し、総額を47億4,241万9,000円とするものであります。

歳出の主なものは、総務費が200万7,000円の減額、保険給付費が984万5,000円の増額、保険税還付金等の諸支出金が202万2,000円の増額であります。

歳入の主なものは、国民健康保険税を653万円増額し、延滞金等の諸収入を333万円増額するものであります。

次に、議案第93号でございます。平成24年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）であります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ91万1,000円を追加し、総額を3億5,886万4,000円とするものであります。

歳出の主なものは、すこやか健診の健康診査費に90万2,000円増額し、歳入の主なものは、保健事業費委託金を90万2,000円増額するものであります。

次に、議案第94号でございます。平成24年度瑞穂市学校給食事業特別会計補正予算（第2号）でございます。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ394万円を減額し、総額を2億8,649万1,000円とするものであります。

次に、議案第95号平成24年度瑞穂市水道事業会計補正予算（第2号）であります。

収益的支出の予定額において営業外費用を35万6,000円増額し、資本的支出の予定額において建設改良費を753万7,000円減額するものであります。

最後となりますが、人事院勧告に基づく職員給与体系を整理するため、議案を1件、急遽追加させていただきました。議案第96号でございます。瑞穂市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例についてであります。

平成24年度人事院勧告により、55歳を超える市職員の昇給を基本的に停止する改定等を行うため、市条例の改正を行うものであります。

以上、1件の承認案件と30件の提出議案につきまして概要を御説明させていただきましたが、よろしく御審議を賜りまして、適切なる御決定をいただきますようお願いを申し上げます、私の提案説明とさせていただきます。ありがとうございました。

議長（藤橋礼治君） これで提案理由の説明を終わります。

議事の都合によりまして、しばらく休憩をいたします。

休憩 午前11時43分

再開 午後0時01分

議長（藤橋礼治君） それでは、休憩前に引き続きまして会議を開きます。

お諮りいたします。ただいま一括議題となっております議案のうち、承認第4号、議案第68号及び議案第90号の3議案を会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思います。これに御異議はありますか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 質疑なしと認めます。したがって、ただいま一括議題となっております議案のうち、承認第4号、議案第68号及び議案第90号の3議案は委員会付託を省略することに決定をいたしました。

承認第4号について（質疑・討論・採決）

議長（藤橋礼治君） これより日程第 8、承認第 4 号平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第 5 号）の専決処分についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから承認第 4 号を採決します。

承認第 4 号平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第 5 号）の専決処分について、本案に賛成の方は起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（藤橋礼治君） 着席してください。起立全員です。したがって、承認第 4 号は承認されました。

議案第68号について（質疑・討論・採決）

議長（藤橋礼治君） これより日程第10、議案第68号消防の事務委託に関する規約の変更についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第68号を採決します。

議案第68号消防の事務委託に関する規約の変更について、本案に賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

議長（藤橋礼治君） 着席願います。起立全員です。したがって、議案第68号は原案のとおり可決されました。

議案第90号について（質疑・討論・採決）

議長（藤橋礼治君） これより日程第32、議案第90号平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第6号）の質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第90号を採決します。

議案第90号平成24年度瑞穂市一般会計補正予算（第6号）、本案に賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

議長（藤橋礼治君） 着席願います。起立全員です。したがって、議案第90号は原案のとおり可決されました。

お諮りします。本日の会議はこれで延会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（藤橋礼治君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで延会することに決定をしました。

本日はこれで延会します。御苦労さまでした。

延会 午後0時06分